

会議録

会議の名称	社会教育委員の会議（6月定例会）会議録
開催日時	平成28年6月20日（月）14時00分から16時15分まで
開催場所	保谷庁舎3階 会議室
出席者	委員：須永議長、内田副議長、岩崎委員、川崎委員、 木下委員、小林委員、沼本委員、服部委員、 原委員、原田委員、森田委員、矢野(真)委員、矢野(尊)委員 事務局：岡本課長、神田係長、桂主事、奥住主事
議題	(1) 正副議長の選出について (2) 都市社連協第4ブロック研修会について (3) 今後の活動について (4) その他
配布資料	資料1 平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会 開催要項（案） 資料2 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の財政状況に対する今後の対応 について（意見照会） ○平成28年度西東京市児童委員、児童相談所、学校、子ども家庭支援センター 等の関係機関による地区連絡協議会の開催について（通知） ○縁（ゆかり）～西東京市ゆかりの文化人を紹介～
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
●平成28年5月定例会議の会議録について承認する。 【平成28年度の西東京市公民館事業計画・図書館事業計画について】 ○公民館長： 前回資料「資料3 平成28年度西東京市公民館事業計画」に沿って説明 ○図書館長： 前回資料「資料4 図書館事業計画」に沿って説明 <主な質疑応答・意見> ○議長： 事業計画の説明をいただいた。委員からの質問等をお願いしたい。 ○委員： 公民館の重点事業である「届ける社会教育」は新しい感じがする。具体的内容は何	

か。

○公民館長：

新町と北町でそれぞれ1事業を実施する。市南部と池袋線北側の北部という考えである。具体的な事業は検討中である。

○委員：

新しい学習機会の提供の方法だと思う。

○委員：

保谷駅前公民館のオレンジカフェは良い試みだと思う。公民館で事業企画するときの具体的な進め方を尋ねたい。

○公民館長：

事業のくみたて方としては、利用者懇談会に新たな事業についての希望を聞くなどもしている。各公民館の特色を活かした既存事業のうち、継続した方が良いものは継続し、要望や前年のアンケート、参加者の評価、地域の特色を活かし、翌年事業を検討するようにしている。講座の配置は6館で割り振り、地域が近くて重複することのないように考えている。館のそれぞれの特色を活かすことができるようにしている。

○委員：

図書館と学校との連携はどう進めているか。特に中学校とどう連携しているか教えてもらいたい。

○図書館長：

学校には学校司書が配置されていることや図書費があることから、学校で読書活動を行う。図書館からは学校に団体貸出しを行う。本市の団体貸出しは盛んである。学校での図書事業について、サポートを求められれば、支援として出向いている。

中学校を対象に読書を推進するのは重要だと考えている。中学生・高校生向けの本のリストの展示をしている。本市の特徴的なこととして、中学生・高校生向けに「CATCH」という本の紹介のパンフレットを作成しているが、「CATCH」の編集に当たっては、中・高学生も参加してもらい、作成している。

○委員：

「CATCH」は、文部科学大臣賞を受賞したと聞いた。今後もぜひ進めてもらいたい。

○委員：

公民館について、公民館事業の受講者の中で指導者の養成を推進したら良いのではないか。

○公民館長：

昨今、循環型学習ということが注目されている。公民館の自主グループの方の中から地域の中で活躍している方を発掘できると良いと考えている。

○委員：

自主グループからの講師を支援することが、重点化されると良いと思う。

○公民館長：

現在、諮問しているので、秋口に答申がまとまると思う。地域の方たちの力になれるように進めていきたい。

○委員：

市内の人材を活用するよう進めてもらいたい。

○委員：

図書館の「縁（ゆかり）」はすばらしい。個人情報に厳しいところ、どのような方法でこれだけ選びだされたのか。また、これだけの情報があると、今後も、いろいろな企画ができると思うが、今後の取組について伺いたい。

○図書館長：

国の地方創生交付金を活用した事業である。本市の図書館では、本市にゆかりのある人物の著作や情報を蓄積しており、そのデータを活用した。「縁（ゆかり）」の作成に合わせて、講演会も実施した。今後も、活用していきたい。

○公民館長：

公民館では、講師に合わせて事業を実施するのでなく、やりたい事業があれば、講師を考えている。協力していただける方がいたら検討していきたい。

○委員：

同一本の複本の購入の指針を伺いたい。

○図書館長：

本市は予約が30件でき、他市に比べて多いが、購入の上限は20冊と定めている。市民は、近隣市の図書館も利用するなどしている。複本は全体の10%に満たない。

○委員：

第3期子ども読書活動推進計画が策定されたが、これまで改善してきたのはどのような点か。

○図書館長：

中学生や高校生の利用について、SNS等新しいツールを活用し、推薦本を発信する形などを内部で検討している。

○委員：

既存資料の効率的活用という視点で、個人の自費出版や個人サークルの記念誌などを蔵書とすることは考えているか。

○図書館長：

本市にゆかりのある人物については、積極的に受け入れ、地域行政資料室において資料として提供している。

○委員：

本市の取組は、他市にも誇る内容だと考えている。今後も充実した活動を進めてもらいたい。

○委員：

新しい発想をとり入れた図書館を検討してもらいたいと思う。

（１）正副議長の選出について

●正副議長（平成28年7月1日～平成29年6月30日）の選出について

・正副議長について、委員の互選により選出する。

決定

議長 内田 日出子委員

副議長 木下 伸子委員

（２）都市社連協第4ブロック研修会について

○事務局より、資料1「平成28年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会開催要項（案）」について説明。

- ・第4ブロック市に事前報告したのち、7/19（火）の理事会で概要を提案予定
- ・9月には要項等をまとめ、各市へ通知予定

<主な質疑応答・意見>

○議長：

7/19（火）の理事会に向けて、7/11（月）の定例会ではある程度はっきりした形にまとめたい。

【各案について】

○議長：

グループワークをした後にグループ発表を行うと、発表そのものが駆け足になってしまい、各グループが何をしていたのかがよく分からないことがある。全体が見えてなおかつ活発な議論が展開できると良いと思うので、グループ分けをしない案2を提案した。また、以前から、近隣の市でどのような社会教育の取組をしているのかを知りたいという意見があったので、どのような議論をし活動しているのか5分程度で報告してもらおうというのはいかがかと思ひ提案した。

○委員：

案2について。具体的にはどのようなテーマで、どのような仕分けで行うとこのようになるのか。

○議長：

まだはっきりとは決めてないが、基本は八王子が決めたテーマに準ずる形を考えている。西東京市で例を挙げると、あらゆる場面で市民の活動が展開されているので、そのエネルギーをどう生かして社会教育行政と結びつけるのか等について議論するのはいかかがか。また他市でも同様にエネルギーがたくさんあると考えるため、そのあたりをうまく引き出して議論に持っていけたら良いと考えた。

○委員：

ワークショップはファシリテーターの力量が重要になるので、NP0の人をお願いすると良いと思う。80分で全員が参加するワークショップというのはイメージがわからないので、ワークショップという名前の形ではなくなると思う。

○委員：

グループに分かれたときに、職員と委員のバランスはどうか。委員だけを考えると、少人数でのグループワークが可能と考えても良いのか。また、事務局と市民（社会教育委員）が混ざったグループで議論が出来るのか。

○事務局：

過去に職員も混ざってグループワークをしている例もあるが、委員中心になると思う。参加のバランスは予測がつかないが、全体で45人程度であれば委員数が少ない可能性はある。

○委員：

それならば、会場は一箇所で行えるのではないか。

○事務局：

最大数を予測して準備することが必要。結果的に数が少なくなることはあるかもしれ

ないが、準備としては、移動時間も含めて組み立てる。

案2については講師の先生が集団全体をワークも含めた運営をしていただくような方法が良いと思う。時間の配分については、基調講演の調整は可能。全体の時間は14:00～17:00の3時間の中で考えている。各市との情報交換の時間がワークショップへの食い込みとなる。

○委員：

ファシリテーターにしっかりした方がいるのなら、案2で良いのではないか。

○委員：

ワークショップをやるというのはそれぞれが持っている経験値をあるテーマに沿ってフラットな関係のもとアイディア等を出し合う情報共有のための仕掛けであるため、情報共有を目的とするのであればワークショップが良いと思う。案2は基調講演者が主導的にやるもので、基調講演者の持っている知識を受けるというやり方になるため、ワークショップとはいえない。参加型でそれぞれの経験値を引き出すのか、知識者を呼んで知識を得るかのどちらを採るかによってやり方は全く違うものになる。

○議長：

案2の講演者と参加者のやり取りでは参加型とはいえないのか。

○委員：

参加型ではあるが、ワークショップとはいえない。参加型の視点を入れている講演会という位置付けになる。

○議長：

講演者と参加者のやり取りが参加者同士のやり取りへとつながることは無いのか。

○委員：

ワークショップは、基調講演の後にテーマを投げかける程度であり、講演者自身の知見等はあまり関係ない。しかし案2の場合は、こちらがぜひ聞きたい知りたいという講演者を選んで話を聞くことがメインのため、隣の人との交流は息抜き程度にしかならないと予想する。スタイルが全く違うので、どこに目的を置くのか次第である。

○委員：

基調講演の時間40分は短くないか。

○委員：

案1ならば基調講演は40分あればよいが、案2の場合は基調講演は最低60分～80分必要。

○委員：

講師の方がまとまった話をしてくれて、運営してくれるのであれば、案2が良いのではないか。

○委員：

ワークショップというのは、本来みんなでテーマを決めて色々やらなければならないので、ファシリテーターがかなり大変。案2は、意見があまり出ないと予想できるし、極端な意見が出るとそちらに傾くので、收拾がつかないと思う。また自分の意見を言えず、満足できないで終わってしまう可能性が高い。ワークショップならば、よく訓練されたファシリテーターがやればかなり盛り上がるのではないか。案2は簡単といえば簡単である。

○副議長：

前回の東村山での研修会は、色々なテーマがあって、最後に発表という形だったが、

人が変わるたびに自己紹介等をするため、十分な話し合いができなかった。

○議長：

グループごとにテーマが違っていたことが原因であると考えられる。今回はテーマを統一するので大丈夫だと思う。

○委員：

ワークショップは話し合いというよりも、アイデアを出しながら何かひとつを作り上げるものであり、その過程のなかで交流し人間関係ができるものである。案1は、ファシリテーターが命であるため、進め方のプロが必要である。案2は、我々が聞きたい講演者を選んで呼ぶものである。

○委員：

ワークショップというのは本来人間関係を作るためのもので、ファシリテーターも人と人を結びつける役割である。会場等物理的な面を考慮すると案1は難しいと思う。最初に子どもたちに何かをやらせて、その後に話し合いをするというやり方もある。あるいは、西東京市内のテーマに沿うような団体を探してみることが先ではないか。

○委員：

東京都民生児童委員連合会では、大きな部屋に十数個のグループをつくって作業をしているが、小声でやり取りをしているのでうるさくて集中できないなどの不便は感じなかった。今用意してある会場でも十分にできると思う。事務局がテーマ等をしっかり用意してできれば良いと思う。

○事務局：

色々と御意見をいただいたので、もう一度事務局で精査し、正副議長と相談の上、具体案を再度提示する。

○議長：

この件については7/11(月)の定例会で再度確認する。

(3) 今後の活動について

○議長：

時間の都合により、割愛する。

(4) その他

【3館合築について】

○事務局より現状について報告。

○事務局：

市議会第2回定例会の一般質問において、3館合築や、図書館や公民館についての質問があり、市長、教育長から答弁があった。

【都市社連協財政状況について】

○事務局より「資料2 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の財政状況に対する今後の対応について（意見照会）」について説明。

○事務局：

決算額が年々増加しており、28年度はなんとかなるが29年度以降は予算の編成が立ち行かないのではないかと懸念される。今後の対策として、支出を抑える提案がいくつか出されている。これらを踏まえた上で西東京市としてどのような意見があるか、7/11(月)の定例会で回答をまとめ、提案したい。

○議長：

これらについて7/11(月)の定例会に持ち越す。

【4者協の研修会の参加について】

○事務局より説明

○事務局：

7/25(月)、児童委員・児童相談所・学校・子ども家庭支援センターの4者の研修会が開催される。参加があれば取りまとめて連絡をする。

参加

須永委員・内田委員・木下委員・原委員

○議長：

①5/24(火)の全国社会教育委員連合の役員会で、緊急提案について採決が行われた。かねてより懸案の全国社会教育委員連合の寄付について、全68団体中46団体が出席し、賛成31、反対3、白票12で可決された。多くの意見が出たが、結局のところ全国組織を残したい、寄付は任意による行為ということで、賛成意見が多くなった。都市社連協は白票の立場をとった。1任期中に一口2,000円の任意の寄付をお願いしたいとのことである。

○委員：

社教連の全国組織としての存立意義について議論はされているのか。

○議長：

あまり議論されず、全国組織だからあるのが当然であり、存続させるべきであるといったような、大雑把な議論がなされたと聞いている。

【その他】

○委員：

ひばりが丘公民館で「地域を考える講座」の案内をもらった。内容が社会教育委員にとって関係があると思う。紹介したいので配付する。

※前正副議長退任あいさつ

※新正副議長就任あいさつ

○議長：以上で本日の社会教育委員の会議（6月定例会）は終了する。

※次回会議 平成28年7月11日（月）午後2時から